

22春闘 賃上げによる労働者分配増で生活改善を 雇用といのちを守りきる公務公共サービスの拡充を

県本部は1月に、春闘・年度末県本部『統一要求書』を全県単組で提出し、要請を実施します。(以下、要求項目抜粋)

1. 賃金底上げ、初任給改善、期末手当不利益不遡及、昇給昇格改善

全ての労働者の生活改善、月例給改善による賃金底上げ

人材確保の困難要因となっている初任給の計画的な引き上げ

月例給及び期末・勤勉手当の改正は不利益不遡及を原則とすること。特に期末手当改定の見送りを判断した市町については年度をまたぐ遡及調整とならないよう適切に対応すること

保育士・看護職員・介護職員対象の賃金改善は、会計年度任用職員を含む全ての労働者を対象とし、その具体化は基本給の引き上げによる改善とすること

2. 労働時間管理、長時間労働、人員確保

労働時間管理はICカード・PCログなど客観的な記録での管理を原則とすること

労働時間の整合性の実態調査を定期的実施し『未払い残業』の確実な根絶を

『労働時間ガイドライン』の『黙示の指示』にも留意すること

3. 子育て・疾病治療などの両立支援、感染対策、ハラスメント対策

『子の看護休暇』の対象を中学校就学前までを原則とすること

『男性の育休』取得率の目標を設定し取得を促すこと

『時差出勤制度』『病欠休暇の時間単位取得制度』などの整備

ハラスメント対応の強化へ安全衛生委員会で議論をすすめること

4. 会計年度任用職員制度

人勧による期末手当の引き下げ(21人勧△0.15月)反映による年収減少に対し『再度任用時の経験加算の上積』『期末手当の減少月数の緩和』『給与上限額の見直し』などを行うこと



第540号

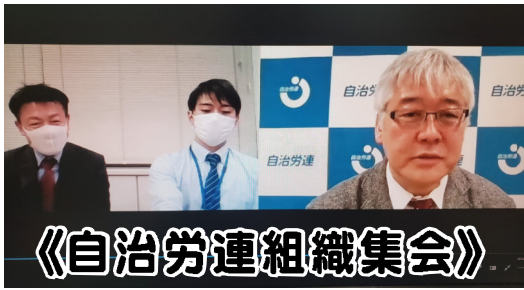
発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 高尾 佳孝
編集人 和氣 伸二
(組合員の個人情報は組合員の
同意なく含まれていません)

日程

- 【1月】
- 21 自治労連中央委員会 (web)
- 22 自治労連青年部全国委員会 (web)
- 23 自治労連女性部全国代表者会議・春闘交流集会 (web併用)
- 25 県本部「春闘統一要求書」提出(26・31)
- 26 公務労組連絡会臨時総会 (共済会館)
- 29 愛媛労連中央委員会 (自治労連現業評議会松山府県代表者会議 (web) 県医労連中央委員会)
- 【2月】
- 1 自治労連「批准投票」(~14)
- 5 自治体非正規・公共関係労働者全国交流集会 (web)
- 11 自治労連共済学校 (web)
- 12 県本部2022中央委員会・県本部組織集会(松山)
- 18 自治労連書記労働学校 (web)

伊予「新採全員加入」の教訓報告 執行部の知恵を集めて前進

12月19日「自治労連本部第34回組織集会」に全地方組織・県事務所から284人、愛媛からは8単組11人が参加。集会の冒頭に本部の石川書記長から「住民を守る人を守る」という労働組合の姿勢を新採職員や非正規、未加入者に示し、その期待に応えることが求められている。新たな仲間を迎えるための知恵を振り絞ってほしい」と呼びかけました。報告では「伊予市職労の新採説明会へのとりくみ(写真)」がインタビュー形式で配信され、木曾副委員長から「数年前までは組合説明会をしつつも加入者が伸び悩んでいた。2年前の組織集会参加でヒントを得て、単組執行部でも説明会の開催方法を根本的に見直し実践した」と話し、新採全員加入に結び付いた経緯を説明。同席した新採加入者からも「組合説明会でイベント開催の点に興味を魅かれ、加入を決意した」と新採職員の視点での加入経緯も語られました。



「県本部組織集会」開催
県本部は2月12日「中央委員会」にあわせ「組織集会」を開催します。今年の自治労連本部組織集会での「まもろう住民と仲間のいのち、くらし!公務公共の拡充をはじめとした要求実現のため、ともに闘う仲間を増やして必ず『増勢』」の提起を受け、具体化を進めるための交流と討議を行います。

①「会計年度任用職員組織化に向けて」山口自治労連 ②「新採職員組合加入に向けて」伊予市職労 ③「具体的な行動提起」県本部

【女性部】女性はずなぎり声を上げよう!! 大会を機に発展的な活動さらけだそう!!

県本部女性部は12月12日、第55回定期大会を開催し、9単組17人が参加。太田部長が「新型コロナの影響で、DVや女性の自殺も深刻、弱い立場の人にしわ寄せがきている」と感じます。こんな時だからこそ女性はずなぎり声を上げていきましよう」とあいさつ。単組の活動報告では「年代別懇談会実施、子育て・介護の悩みが多かった」「女性の要求を位置付け、特に来年は不妊治療休暇新設や『産後パパ育休』など両立支援制度の拡充にとりくむ」など報告。部会からは「保育部会」デジタル化での負担の増減、子どもとの関わり方など保育の質への影響を試行錯誤。【保健師部会】コロナワクチン対応で休み

も取れない過密過重労働がある。などの実態を報告。コロナ禍で住民の命と健康を守ることの重要性が話されました。次年度から女性部は「女性学習交流会」を定期開催し情報交換・情勢学習をすすめるなど運営方法を変更。誰も参加しやすく得るものが多い学びと交流の場とし、会に出た声や要求は各執行委員会など組合活動に反映させる、などの「申し合わせ」を確認。女性部は今年大会から発展的に活動内容を見直します。

【現業評】給食調理員が県教委へ「安全安心 豊かな学校給食の充実」を要請!

県本部現業評議会は12月27日、県教育委員会「学校給食担当課要請」を実施。3単組6人が参加。県教委は、保健体育課係長と指導主事(栄養教諭)の2人が対応。「教育の一環として安全で豊かな学校給食を求め、要請書」を提出し、調理場の現場実状を伝え、改善などを求めました。

【西条】給食の大規模センター2カ所の新設が決定され、現在PFI方式を視野に入れた事業方式の検討中。調理場は正規調理員1名体制で来年度からは正規調理員不在校が発生する可能性がある。教育委員会で状況調査と助言を。【松山】新型コロナ感染防止のため、各学校での配膳作業をクラス担任が行っており、配膳時間が以前より長くな

り、各学校の配膳時間を約30分前倒しするよう指示が出ている。このため始業時間前に作業を開始せざるをえない。これらの実態調査と必要な場合には指示を行うよう助言を、と求めました。最後に県本部から「学校給食は単なる昼食ではなく大きな使命、①安心安全、②食育、③地産地消がある。『地産地消』は大規模の給食センターでは困難。県下の学校給食の水準向上へ県教委の役割を發揮してほしい」と要請しました。



【西条】賃金学習会で基礎知識養い 参加者同士で交流会!



西条市職労は12月8日、単組青年部と合同で、賃金学習会と新採歓迎会を行いました。今年には感染リスクを考慮し、一度は学習会のみで歓迎会はあきらめましたが、その後のコロナの急速な収束もあり、急ぎよ歓迎会も実施しました。賃金学習会には23人が参加し、高本

副委員長が学習資料を練り直し「普通と違って、いることも知識を得ること、問題点が見えてくる」と賃金や手当などの基本的なことから、組合が要求している内容の説明まで含めて、パワポでわかりやすく説明。賃金学習会ができなかった昨年度の新採も含め青年部の理解も深まりました。場所を移しての歓迎会は人数を絞りコンパクトに開催し、盛り上がりがありました。

【新居浜】新採歓迎会で組合活動紹介 ビンゴなど顔をあわせて交流



新居浜市職労は12月9日、新採歓迎会を開催し新採19人、先輩32人の計51人が参加。新型コロナウイルス感染症対策の関係で今回も食事なしの開催でしたが参加の先輩から「2年連続で短縮かつ会食なしになりましたが、今年も新採歓迎会を開催できてよ

かった」「内容も短いながら充実したものにでき、新採・先輩ともに大いに楽しめたのは、青年部の力強さ、団結力の賜物だと感じています」の感想、新採からは「スクリーンで組合の活動内容が分かりやすく知れて、楽しい時間が過ごせました」「ビンゴで先輩方の顔と名前を知れて良かったです」などの感想がありました。

【今治】みんなで仕事のあり方などを学ぶ 『職場自治研』で「ICT・DX」など



今治市職は12月21日、市職自治研部の主催で、市役所の仕事を学び、みんなで仕事のあり方などを考えようという「職場自治研」を開催し一般職や保健師、保育士など幅広い職種に参加がありました。未来づくり課デジタル戦略室・山本室長を講師に「デジタル化・DXってなあに?」ひとにやさしいデジタル化」をテーマに学習。講演の中で、はじめに「ICT」「DX」などの用語解説があり、今後今治市でデジタル技術をどう活用していくかについて「市民が生活する上で選択肢が広がり、住民サービス向上と職員の負担軽減につなげて行くことが重要」と説明。参加者からは「自治体DXは誰も取り残されないことにつながると思い、少しホッとした」などの感想がありました。

【伊予】組合主催『くみあいカレッジ』予 青年部ボッチャ大会』開催



伊予市職労は12月10日『くみあいカレッジ』E x c e l l e n c e 1部』を開催。『くみあいカレッジ』はそれぞれ違う職場で働いている組合員同士が交流し、仕事に役立つテクニクから趣味の活動までニッチ&マニアックなテーマを対象に、ゆる〜く楽し

く学ぶ場。第1回は入庁1年目から大先輩まで15人が参加しエクセルについて財政課講師のもと、作業効率化や仕事に役立つ便利な関数など、基礎から応用まで学びました。12月11日、青年部主催の『ボッチャ大会』を開催。青年部OBや家族も参加し、合計23人が参加。総当たり戦で最終戦まで順位が確定しないほど白熱した試合が繰り広げられました。

【保育部会】県自治研・四国ブロックの情報 制度学習と単組状況で交流!



県本部保育部会は12月19日、幹事会を行い、8単組10人が参加。はじめに県自治研保育分科会での「職場のデジタル化に向けたメリット・デメリット・課題」討論内容や四国ブロック総会・保育事前会議の参加者から、高知や徳島での保育部会のとりにくみなど報告。その

後「保育分野の業務負担軽減・業務再構築のためのガイドライン」を使い学習しました。今後のとりくみでは、県子育て支援課懇談の日程を2月第1週目で調整中で、要請内容は各単組保育部会からも意見を出してもらうことを確認。参加者から電子化システムの導入、正規職員の増員要求、次世代育成、出退勤のPC管理開始などの職場状況を交流しました。

【南予総支部】半年ぶりの実開催で情報共有 交流深め南予一丸で要求前進



南予総支部は12月16日、単組代表者会議を開催し4単組9人が参加。8月開催の総会がweb開催のため、久しぶりの実開催となり、自己紹介から始まった会議は活発な情報共有の場となり、報告では「学習会・歓迎会・ボウリング大会などを開催」「女性組合員をター

ゲットにした活動を計画中」「病院での人員不足が深刻。夜勤回数も問題」「介護職の処遇改善を訴えたい」「宇和島と同様に一時金削減が一部緩和医療介護の現場がひっ迫している」など組合活動の活性化、課題や活動状況も共有。次回以降も積極的に会議を開催し、顔の見える関係で交流を深め、南予が一丸となって要求前進へと向かうことを確認しました。

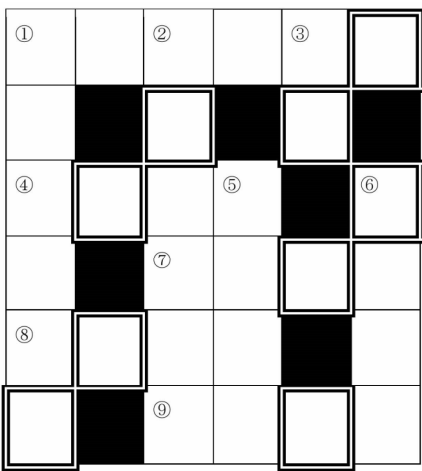
マス目を埋め、二重枠の9文字で、顔写真付き個人情報...にして下さい。

【ヨコのカギ】

- ① 研磨機、研磨盤を英語で
- ④ あやつり人形。くぐつ。〇〇〇〇政権
- ⑦ 野などに放し飼い。〇〇〇〇の犬
- ⑧ 国家・社会を構成している人々。中華〇〇〇〇共和国
- ⑨ 地下に設けられた、歩行用の道

【タテのカギ】

- ① 長崎県の端島、石川県の見附島の通称
- ② 困難や苦難の多い人生を道に例えて
- ③ アン〇〇、サイ〇〇、〇〇ティハリー
- ⑤ トランプ米元大統領の娘の名
- ⑥ 宇和島出身の画家、高島〇〇〇〇



出題者 堀川孝行

■538号のバズルの答えは「オトイオオズモウ」(乙亥大相撲)でした。正解は15通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

向井 裕子(伊予) 鈴木 愛理(新居浜) 木下 麻由(西予) 越智 紀幸(今治一般) 兵頭 龍紀(西予)

【応募方法】バズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載

【締切り】2月27日【発表】542号(3月号)

おたより ありがとう

■ガソリン代が高くてお財布が厳しいです。驚いたのが灯油が100円を超えたことです。寒さだけはしのぎたいので仕方なく買いました。

(今治一般・越智)

■昨年のクリスマスは、仲の良い友人と少人数でクリスマスパーティー開催。童心に帰ってプレゼント交換、なかなか盛り上がりました。今年こそ

■新しい一眼カメラを購入

は、大人数でワイワイ賑やかに楽しめますように。趣味にすると普段何気なく通り過ぎてた景色などが美しく、面白く見えます。みなさんにもスマホではなく一眼カメラをお勧めします。

(西条・中島)

■コロナ禍で活動できない中、市組合女性部ではアンケートと西予市の特産品を部員にプレゼントを実施。部員にも市の経済にも還元できたのではないでしようか?

(西予・木下)